

11月の全国自治体病院学会で教育研修センターの取り組みを発表しました。

研修医との | on | はじめました

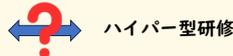
新潟県立新発田病院 教育研修センター 長谷川聡 本間祥子 貝瀬歩

背景

当院の概要

- ✓ 病床数478床 地域唯一の基幹病院
- ✓ 救命救急センター併設 救急車の受け入れは県内随一
- ✓ 研修医は20名
- ✓ 県内では“ハイパー（忙しい）型”の研修と言われている

- 最近の学生の傾向
 - ・忙しい研修は敬遠されがち？
- 働き方改革
 - ・個の尊重
 - ・ワークライフバランス



ハイパー型研修

本年4月に研修センター長になって考えたこと



ハイパー型の研修は今時流行らない？

- でも当院の研修医は楽しそうに働いている？！
- まず当院の研修医の満足度をあげよう！



目的

- ・研修医との信頼関係の強化
- ・研修医の満足度を上げる

方法

| on | ミーティング（以下| on |）の導入

| on |とは・・・
上司と部下（マネージャーとメンバー）の間で行われる定期的な| on |の対話
信頼関係の構築やキャリア支援が目的



月に1回、個室（図1）で施行
時間は研修医まかせ・・・1回おおむね20-40分
内容も研修医まかせ
アクティブリスニング（積極的傾聴）を行う



図1. | on |の部屋

- 意識していること
 - ・心理的安全性を担保する
 - ・経験学習サイクル（図2）を回す手伝いをする
 - ・自分の中で| on |を（最）優先業務とする
 - ・研修医のための時間であることを常に意識する

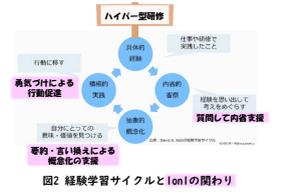


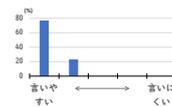
図2. 経験学習サイクルと| on |の関わり

- 評価
半年実施したところで研修医にアンケートを実施し、| on |の実態について調査した

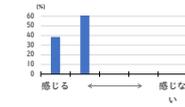
結果

<研修医に行ったアンケート（回答率65%）>

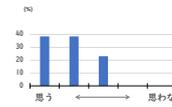
Q1. 言いたいことが言える場ですか



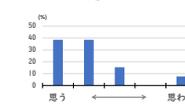
Q2. 意義を感じますか



Q3. 問題（課題）の解決につながっていると思いますか



Q4. 業務（仕事）に生かされていると思いますか



その他研修医からの意見

- ・自分でも1か月を振り返るいい機会になっている
- ・経験を言語化することでいい振り返りになっている

<| on |をする側の実感>

- ・当初はぎこちない感じであったが、回を重ねるごとに研修医との対話が楽しみなってきた
- ・研修医一人一人への関心度が上がった
- ・最初に「今日は何の話をししようか」と聞くとは以前は困りごとや要望の話が多かったが、徐々に仕事上の成功体験や失敗経験の話もできるようになってきた
- ・全員と| on |を行うことで、不平等感が生じるのを防ぐことができる
- ・個々を話すことでコミュニケーション不足によるトラブルの回避に役立つ

考察

- ・| on |の場は「言いたいことが言える場」と感じられており、課題解決にも貢献しているとする意見が多く、心理的安全性が担保されている場と考えられた
- ・| on |に意義を感じている研修医が多く、「今度の| on |の際に相談させてください」など| on |を有効活用している研修医もいて、満足度につながっている可能性が示唆された
- ・業務に生かされていないと考えている研修医もいて、経験学習サイクルを回す効果が不十分な可能性がある。| on |は研修医のための場であるため話したいことを話してくれるのが良いと考えるが、最近研修医の側から仕事の話が出るようになってきたのは徐々に意図が浸透していると感じている
- ・定期的に| on |を行うことで、コミュニケーションの質があがった

結論

- | on |を行うことで研修医との信頼関係を強化することができる
- | on |は研修医の満足度をあげることに寄与する可能性がある

新潟県立自治体病院学会
発表の場

発表者名：長谷川 聡

発表は本誌の読者に限らず、関係者へも発表はありせん。

参考文献
「ヤフーの| on | 部下を成長させるコミュニケーションの技法」 本間祥子著（ダイヤモンド社）
「優秀リーダーが実践している | on | の技術」 小倉直典（日本経済新聞出版）
「職場が生かせる人が育つ「経験学習」入門」 松尾健著（ダイヤモンド社）